



T R E ガ ラ ス 株 式 会 社

環 境 経 営 レ ポ ー ト

発行： 2025年6月1日

（対象期間：2024年4月1日～2025年3月31日）

目 次

	ページ
会社概要	3～4
環境方針	5
環境管理実施体制	6
リサイクルフロー	7
環境経営目標の実績と評価及び主な取組	8～11
次年度の環境目標及び主な取組	12～15
環境関連法規	16
代表者による見直し	17
主な活動	18

会社概要

1. 名称及び代表者

TREガラス株式会社

代表取締役 行森 秀和

2. 所在地

本社・新木場工場	東京都江東区新木場4-3-32	tel : 03-3521-6301
南幌工場	北海道空知郡南幌町南16線西22	tel : 011-378-7007
館林工場	群馬県館林市近藤町776-1	tel : 0276-74-1157
大井川工場	静岡県焼津市中島1020	tel : 054-622-0470

3. 環境管理責任者氏名及び連絡先

笹谷 俊之 tel : 03-3521-6301 faX : 03-3521-6305

4. 事業内容

ガラス屑の集荷・再資源化処理・販売、産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物処理業
取扱い品目：ガラスびん、板ガラスなど

5. 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：TREガラス株式会社

対象事業所：本社・新木場工場、南幌工場、館林工場、大井川工場

6. 事業の規模

設立 : 2004年10月6日
資本金 : 3,000万円
売上高 : C区分(10億円以上)
総人員 : 73名 (うち本社・新木場45名、南幌16名、館林8名、大井川4名)
事業年度 : 4月1日～3月31日

主要設備 :
(全拠点)

名称	数
破碎機	11
紙ラベル剥離機	3
磁選機	42
ふるい機	12
機械式異物除去機	17
乾燥ドラム	1

保有車両 :

名称	数
10tトラック	8
トレーラー	1
ショベルローダー	7
フォークリフト	6
ホイールローダー	2
ユンボ	3

廃棄物取扱量 (t)

(全拠点)	2023.4～2024.3	2024.4～2025.3
収集運搬量	633	2,951
中間処理量	88,171	89,014

会社概要

7. 許可

産業廃棄物処分業許可

自治体	業の区分	産業廃棄物の種類	許可番号	許可年月日	有効期限	処理能力
北海道	中間処理 (破碎)	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	00120152736号	R7.2.16	R12.2.15	120t/日
東京都	中間処理 (破碎)	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	第13-20-152736号	R5.5.26	R10.5.25	75.8t, 96.0t, 137t/日
群馬県	中間処理 (破碎)	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	01020152736	R4.10.27	R9.10.26	120t, 56t/日
静岡県	中間処理 (破碎)	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	第02221152736号	R6.4.1	R11.3.31	72.48t/日

産業廃棄物収集運搬業許可

自治体	産業廃棄物の種類	許可番号	許可年月日	有効期限	積替保管
北海道	廃プラ、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき	00100152736号	R7.2.5	R12.2.4	無し
福島県	廃プラ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	第00707152736号	R6.10.10	R11.9.1	無し
東京都	廃プラ、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき	第13-10-152736号	R6.8.23	R11.8.22	有り
栃木県	廃プラ、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき	00900152736	R6.9.17	R11.9.16	無し
群馬県	廃プラ、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき	01000152736	R6.9.24	R11.9.23	無し
茨城県	廃プラ、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき	00801152736	R6.10.21	R11.10.20	無し
埼玉県	廃プラ、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき	01100152736	R6.11.14	R11.11.13	無し
千葉県	廃プラ、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき	第01200152736号	R6.9.30	R11.9.29	無し
神奈川県	廃プラ、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき	01400152736	R6.11.11	R11.11.10	無し
静岡県	ガラスくず・コンクリートくず	第02201152736号	R6.3.26	R11.6.25	無し
富山県	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	01605152736	R6.2.27	R11.2.17	無し

環 境 方 針

【基本理念】

TREガラス株式会社は、「捨てればゴミ」となるガラスを「生かす資源」として、再資源化・有効利用する担い手として、地球環境の保全と循環型社会の形成に貢献してまいります。

【行動指針】

環境負荷を最小限に抑え、環境への配慮を重視した企業運営を進めるため、環境マネジメントシステムの継続的運用に努めてまいります。ガラスの再資源化という重要な環境活動を、広く社会普及できるよう努めてまいります。

1. 法令遵守

法の目的を会社に浸透させ、関連法規を順守します。

2. 環境活動

- 2-1. エコドライブを徹底し、CO2排出量の削減に努めます。
- 2-2. 廃棄物排出量の削減に努めます。
- 2-3. 節電・節水により、省エネルギー化を推進していきます。
- 2-4. 再生原料であるカレットの生産効率を高め、
納入先でのCO2削減効果に繋がります。

3. 地域融和

環境美化などの地域活動に積極的に参加し、
対外コミュニケーションを進めます。

この環境方針は、従業員を含むすべての人に開示します。

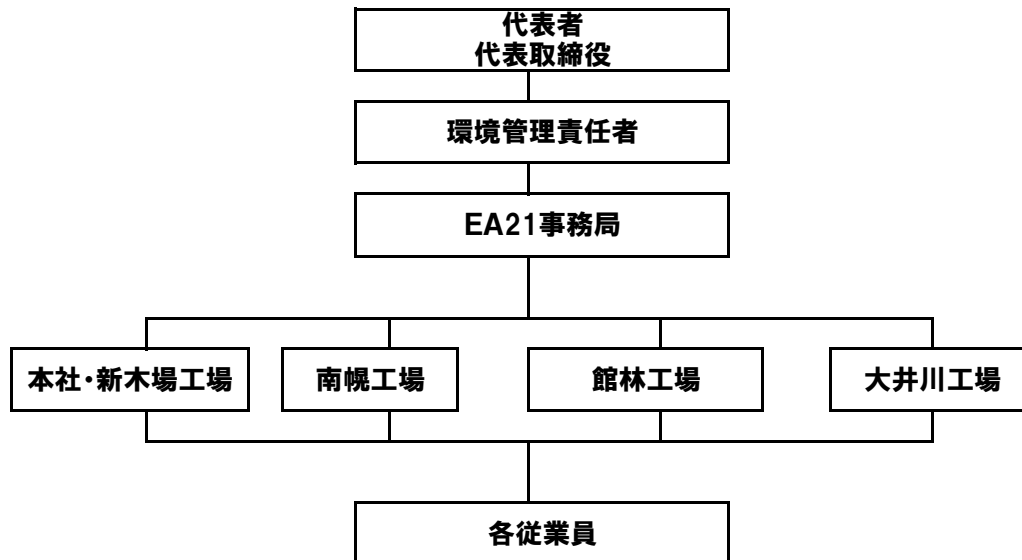
2025年4月1日

TREガラス株式会社

代表取締役 行森 秀和

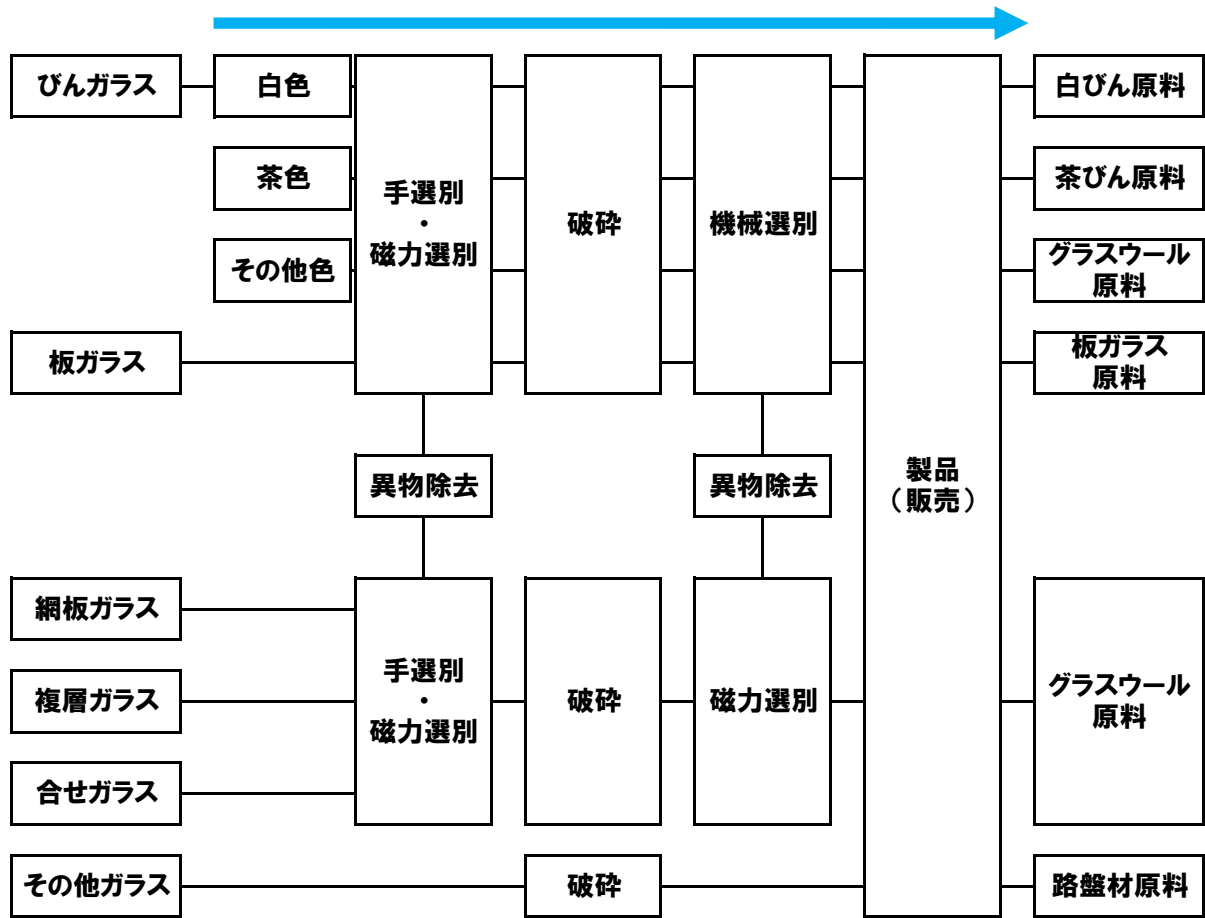
環境管理実施体制

TREガラス株式会社 環境管理実施体制表



	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの承認
	・環境方針の策定・見直しおよび全従業員へ周知
	・代表者による全体の評価と見直し
	・環境関連法規等の順守評価の承認
	・環境管理責任者の任命
環境管理責任者	・代表者の補佐
	・EA21事務局への指示
	・環境目標の承認
	・規定類の承認
EA21事務局	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施
	・環境活動レポートの作成
	・環境目標の設定
	・規定類の作成
各工場	・環境活動の実施および実績集計
	・教育訓練の実施
	・緊急事態への対応のための手順書作成、訓練(見直し含む)・記録
	・問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

リサイクルフロー



備考

取扱品目:新木場工場、南幌工場、館林工場:びんガラス・板系ガラス。大井川工場:板系ガラス。

2024年度環境経営目標の実績と評価及び主な取組

新木場工場

項目		単位	目標	実績	評価	主な取組
			2024年4月～2025年3月			
二酸化炭素排出量	電力使用量の低減	kWh	609,296	570,829	○	・効率的な生産 ・消灯、電源OFF ・温度設定
				1.07		
	軽油使用量の低減	ℓ	84,054	114,388	×	・エコドライブ ・点検の徹底
				0.73		
	二酸化炭素排出量の低減	kg-CO2	491,651	536,136	△	
				0.92		
効率向上	電力/生産量の削減(電力原単位)	kWh/t	13.11	12.98	○	効率的な生産計画
	(年間AVE)			1.01		
	軽油/生産量の削減(軽油原単位)	ℓ/t	2.10	2.63	×	効率的な運搬計画
	(年間AVE)			0.80		
排水	上水使用量の削減	m ³	4,357	3,323	◎	・節水の徹底
				1.31		
廃棄物	埋立廃棄物量の削減	t	2,817	2,491	◎	・歩留りの削減 ・分別の徹底
				1.13		
教育	従業員の教育	-	1回/月	1回/月	○	・新木場ミーティング等
	資格取得の推進	-	4回/年	4回/年	○	・重機等の資格取得

備考:

- 電力の排出係数:0.408kg-CO2/kWh R6年度調整後排出、使用先:東京電力エナジーパートナー
但し、8月からはタケエイでんきに変更。係数0.429kg-CO2/kWh
- 環境目標値は前年度実績値の1%減で設定
- 評価は、◎=1.10越え、○=1.00～1.10、△=0.90～1.00、×=0.90未満。全拠点共通。

環境活動計画の結果及び評価

目的	実施項目	結果	評価	今後の取組
二酸化炭素総排出量削減	電気使用量	切替時間の短縮	○	引き続き、洗い出し及び切替作業の簡素化を検討
		新たな施策は見出せなかった		
		不要照明の消灯	○	継続実施
		実施		
	エアコン温度設定	実施	△	継続実施
	軽油使用量	アイドリングストップ	×	重点管理
車の使用量削減	節水	車両増加により目標を再設定したが大幅増		
水の使用量削減		DRY生産化により削減	◎	継続実施
廃棄物削減	再資源化の検討	廃棄していたガラス残渣を原料再利用	◎	継続実施
グリーン購入	環境配慮商品購入	実施	○	継続実施
教育	資格取得	玉掛、クレーン、溶接、小型移クレーン取得	○	多能化を図る為計画的に実施していく
	社内教育	実施	○	継続実施
社会貢献	工場周辺の清掃	実施	○	継続実施

南幌工場

項目		単位	目標	実績	評価	次年度の主な取組	
			2024年4月～2025年3月				
二酸化炭素排出量	電力使用量の低減	kWh	344,571	331,709 1.04	○	・効率的な生産 ・消灯、電源OFF ・温度設定	
	軽油使用量の低減	ℓ	42,157	41,290 1.021	○	・エコドライブ ・点検の徹底	
	灯油使用量の低減	ℓ	5,617	5,603 1.00	○	・不使用時OFF	
	重油使用量の低減	ℓ	79,299	67,400 1.18	◎	・効率的な生産計画 ・不使用時OFF	
	二酸化炭素排出量の低減削減	kg-CO2	534,874	480,836 1.11	◎	・効率的な計画	
	効率向上	電力/生産量の削減(電力原単位)	kWh/t	18.93	19.93 0.95	△	効率的な生産計画
	効率向上	軽油/生産量の削減(軽油原単位)	ℓ/t	2.69	2.48 1.08	○	効率的な運搬計画
	排水	上水使用量の削減	m ³	387.0	418.0 0.93	△	・節水の徹底
廃棄物	埋立廃棄物量の削減	t	1,258.0	1,061.0 1.19	◎	・歩留りの削減 ・分別の徹底	
教育	従業員の教育	-	1回/月	1回/月	○	・南幌定例会議	
	資格取得の推進	-	2回/年	2回/年	○	・重機等の資格取得	

備考:

- 1 電力の排出係数:0.532kg-CO2/kWh R6年度調整後排出、使用先:北海道電力(株)
- 2 環境経営目標値は前年1月～3月合計の1%減で設定
- 3 評価は、◎=1.10越え、○=1.00～1.10、△=0.90～1.00、×=0.90未満。全拠点共通。

環境活動計画の結果及び評価

目的		実施項目	結果	評価	今後の取組
二酸化炭素総排出量削減	電気使用量	不要照明の消灯	実施	○	継続実施
		エアコン温度設定	実施	○	継続実施
	軽油使用量	アイドリングストップ	実施	○	効率的な配車の検討
	灯油使用量	不使用時OFF	実施	○	継続実施
	重油使用量	不使用時OFF	実施	◎	効率的な生産計画
水の使用量削減		節水	実施したが未達	△	継続実施
廃棄物削減		再資源化の検討	分別徹底	◎	継続実施
グリーン購入		環境配慮商品購入	実施	○	継続実施
教育	資格取得	シヨベルなど		○	多能化を図る為計画的に実施していく
	社内教育	実施		○	継続実施
社会貢献		工場周辺の清掃	実施	○	継続実施

館林工場

項目		単位	目標	実績	評価	次年度の主な取組
			2024年4月～2025年3月			
二酸化炭素排出量	電力使用量の低減	kWh	80,958	79,019	○	・効率的な生産 ・消灯、電源OFF ・温度設定
				1.02		
	軽油使用量の低減	ℓ	25,336	31,833	×	・効率的な配車 ・エコドライブ ・点検の徹底
				0.796		
	二酸化炭素排出量の低減削減	kg-CO2	104,470	120,295	×	・効率的な計画
				0.87		
効率向上	電力/生産量の削減(電力原単位)	kWh/t	13.14	9.75	◎	・効率的な生産計画
	(年間AVE)			1.35		
	軽油/生産量の削減(軽油原単位)	ℓ/t	3.25	3.88	×	・効率的な運搬計画
	(年間AVE)			0.84		
排水	上水使用量の削減	m ³	176.0	169.0	○	・節水の徹底
				1.04		
廃棄物	埋立廃棄物量の削減	t	144.0	438.0	×	・歩留りの削減 ・分別の徹底
				0.33		
教育	従業員の教育	-	1回/月	1回/月	○	・定例会議
	資格取得の推進	-	1回/年	1回/年	×	・重機等の資格取得

備考:

- 1 電力の排出係数;0.408kg-CO₂/kWh R6年度調整後排出、使用先:東京電力エナジーパートナー
- 2 環境目標値は前年度実績値の1%減で設定
- 3 評価は、◎=1.10越え、○=1.00～1.10、△=0.90～1.00、×=0.90未満。全拠点共通。

環境活動計画の結果及び評価

目的		実施項目	結果	評価	今後の取組
二酸化炭素総排出量削減	電気使用量	効率的な生産	実施	○	継続実施
		不要照明の消灯	実施	○	継続実施
		エアコン温度設定	実施	○	継続実施
	軽油使用量	アイドリングストップ	ユンボをレンタル使用	×	効率的な配車の検討
水の使用量削減		節水	実施	○	継続実施
廃棄物削減		再資源化の検討	在庫処分により廃棄物増	×	継続実施
グリーン購入		環境配慮商品購入	実施	○	継続実施
教育	資格取得	無し		×	多能化を図る為計画的に実施していく
	社内教育	実施		○	
社会貢献		工場周辺の清掃	実施	○	継続実施

大井川工場

項目		単位	目標	実績	評価	次年度の主な取組
			2024年4月～2025年3月			
二酸化炭素排出量	電力使用量の低減	kWh	30,947	28,679	○	・効率的な生産 ・消灯、電源OFF ・温度設定
				1.08		
	軽油使用量の低減	ℓ	17,707	18,757	△	・エコドライブ ・点検の徹底
				0.944		
	二酸化炭素排出量の低減削減	kg-CO2	62,757	62,819	○	・効率的な計画
			1.00			
効率向上	電力/生産量の削減(電力原単位)	kWh/t	3.10	2.93	○	・効率的な生産計画
	(年間AVE)			1.06		
	軽油/生産量の削減(軽油原単位)	ℓ/t	1.90	1.91	△	・効率的な運搬計画
	(年間AVE)			0.99		
排水	上水使用量の削減	m ³	23.0	22.0	○	・節水の徹底
				1.05		
廃棄物	埋立廃棄物量の削減	t	154.00	134.0	◎	・歩留りの削減 ・分別の徹底
				1.15		
教育	従業員の教育	-	1回/月	1回/月	○	・定例会議
	資格取得の推進	-	1回/年	1回/年	○	・重機等の資格取得

備考:

- 1 電力の排出係数;0.393kg-CO2/kWh R6年度調整後排出、使用先:中部電力ミライズ
- 2 環境目標値は前年度実績値の1%減で設定
- 3 評価は、◎=1.10越え、○=1.00～1.10、△=0.90～1.00、×=0.90未満。全拠点共通。

環境活動計画の結果及び評価

目的		実施項目	結果	評価	今後の取組
二酸化炭素総排出量削減	電気使用量	効率的な生産	実施	○	継続実施
		不要照明の消灯	実施	○	継続実施
		エアコン温度設定	実施	○	継続実施
	軽油使用量	アイドリングストップ	車両増加により目標を再設定したが大幅増	△	効率的な配車の検討
水の使用量削減		節水	実施	○	継続実施
廃棄物削減		再資源化の検討	実施	◎	継続実施
グリーン購入		環境配慮商品購入	実施	○	継続実施
教育	資格取得	大型免許		○	多能化を図る為計画的に実施していく
	社内教育	実施		○	継続実施
社会貢献		工場周辺の清掃	実施	○	継続実施

次年度の環境目標及び主な取組

新木場工場

項目		基準	1年後	2年後	3年後
			2025年度	2026年度	2027年度
二酸化炭素排出量	電力使用量の低減	570,829 kWh	570,829	570,829	570,829
		基準:2024年4月～2025年3月の実績	前年度を超えない事	前年度を超えない事	前年度を超えない事
	軽油使用量の低減	114,388 ㍑	114,388	114,388	114,388
		基準:2024年4月～2025年3月の実績	前年度を超えない事	前年度を超えない事	前年度を超えない事
	二酸化炭素排出量の低減	536,136 kg-CO2	536,136	536,136	536,136
		基準:2024年4月～2025年3月の実績	前年度を超えない事	前年度を超えない事	前年度を超えない事
生産効率化	電力/生産量の削減	13.0 kWh/t	13.0	13.0	13.0
		基準:2024年4月～2025年3月の実績	前年度を超えない事	前年度を超えない事	前年度を超えない事
	軽油/生産量の削減	2.6 ㍑/t	2.6	2.6	2.6
		基準:2024年4月～2025年3月の実績	前年度を超えない事	前年度を超えない事	前年度を超えない事
排水	水使用量の削減(上水)	3,323 m ³	3,323	3,323	3,323
		基準:2024年4月～2025年3月の実績	前年度を超えない事	前年度を超えない事	前年度を超えない事
廃棄物	埋立廃棄物量の削減	2,491 t	2,466	2,441	2,417
		基準:2024年4月～2025年3月の実績	前年度比1%削減	前年度比1%削減	前年度比1%削減
教育	従業員の教育	-	1回/月	1回/月	1回/月
	資格取得の推進	-	4回/年	3回/年	2回/年

※ 電力の排出係数:0.429kg-CO2/kWh R6年度調整後排出、使用先:タケエィでんき

<次年度の環境活動計画>

目的		実施項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	頻度
二酸化炭素総排出量削減	電気使用量	効率的な生産													通年
		不要照明の消灯													
		エアコン温度設定													
	軽油使用量	アイドリングストップ													通年
水の使用量削減		節水													通年
廃棄物削減		再資源化の検討													通年
教育		資格取得													通年
		緊急時の訓練			●										1回/年
社会貢献		工場周辺の清掃													1回/月

次年度の環境目標及び主な取組

南幌工場

項目		基準	1年後	2年後	3年後
			2025年度	2026年度	2027年度
二酸化炭素排出量	電力使用量の低減	331,709 kWh	331,709	331,709	331,709
		基準:2024年4月～2025年3月の実績	前年度を超えない事	前年度を超えない事	前年度を超えない事
	軽油使用量の低減	41,290 ㍑	41,290	41,290	41,290
		基準:2024年4月～2025年3月の実績	前年度を超えない事	前年度を超えない事	前年度を超えない事
	灯油使用量の低減	5,603 ㍑	5,603	5,603	5,603
		基準:2024年4月～2025年3月の実績	前年度を超えない事	前年度を超えない事	前年度を超えない事
	重油使用量の低減	67,400 ㍑	67,400	67,400	67,400
		基準:2024年4月～2025年3月の実績	前年度を超えない事	前年度を超えない事	前年度を超えない事
	二酸化炭素排出量の低減	480,836 kg-CO2	480,836	480,836	480,836
		基準:2024年4月～2025年3月の実績	前年度を超えない事	前年度を超えない事	前年度を超えない事
生産効率化	電力/生産量の削減	19.9 kWh/t	19.9	19.9	19.9
		基準:2024年4月～2025年3月の実績	前年度を超えない事	前年度を超えない事	前年度を超えない事
	軽油/生産量の削減	2.5 ㍑/t	2.5	2.5	2.5
		基準:2024年4月～2025年3月の実績	前年度を超えない事	前年度を超えない事	前年度を超えない事
排水	水使用量の削減(上水)	418 m ³	418	418	418
		基準:2024年4月～2025年3月の実績	前年度を超えない事	前年度を超えない事	前年度を超えない事
廃棄物	埋立廃棄物量の削減	1,061 t	1,050	1,040	1,029
		基準:2024年4月～2025年3月の実績	前年度比1%削減	前年度比1%削減	前年度比1%削減
教育	従業員の教育	-	1回/月	1回/月	1回/月
	資格取得の推進	-	2回/年	2回/年	2回/年

※ 電力の排出係数:0.429kg-CO2/kWh R6年度調整後排出、使用先:タケエィでんき

<今年度の環境活動計画>

目的	実施項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	頻度
二酸化炭素 総排出量削減	電気使用量	効率的な生産												通年
		不要照明の消灯												
		エアコン温度設定												
	軽油使用量	アイドリングストップ												通年
	灯油使用量	不使用時停止												通年
	重油使用量	計画使用												通年
水の使用量削減	節水													通年
廃棄物削減	再資源化の検討													通年
教育	資格取得													通年
	緊急時の訓練			●										1回/年
社会貢献	工場周辺の清掃													1回/月

次年度の環境目標及び主な取組

館林工場

項目		基準	1年後	2年後	3年後
			2025年度	2026年度	2027年度
二酸化炭素排出量	電力使用量の低減	79,019 kWh	79,019	79,019	79,019
		基準:2024年4月～2025年3月の実績	前年度を超えない事	前年度を超えない事	前年度を超えない事
	軽油使用量の低減	31,833 ㍑	31,833	31,833	31,833
		基準:2024年4月～2025年3月の実績	前年度を超えない事	前年度を超えない事	前年度を超えない事
	二酸化炭素排出量の低減	120,295 kg-CO2	120,295	120,295	120,295
		基準:2024年4月～2025年3月の実績	前年度を超えない事	前年度を超えない事	前年度を超えない事
生産効率化	電力/生産量の削減	9.8 kWh/t	9.8	9.8	9.8
		基準:2024年4月～2025年3月の実績	前年度を超えない事	前年度を超えない事	前年度を超えない事
	軽油/生産量の削減	3.9 ㍑/t	3.9	3.9	3.9
		基準:2024年4月～2025年3月の実績	前年度を超えない事	前年度を超えない事	前年度を超えない事
排水	水使用量の削減(上水)	169 m ³	169	169	169
		基準:2024年4月～2025年3月の実績	前年度を超えない事	前年度を超えない事	前年度を超えない事
廃棄物	埋立廃棄物量の削減	438 t	434	429	425
		基準:2024年4月～2025年3月の実績	前年度比1%削減	前年度比1%削減	前年度比1%削減
教育	従業員の教育	-	1回/月	1回/月	1回/月
	資格取得の推進	-	1回/年	1回/年	1回/年

※ 電力の排出係数:0.408kg-CO2/kWh R6年度調整後排出、使用先:中央電力エナジー(株)

<次年度の環境活動計画>

目的		実施項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	頻度
二酸化炭素総排出量削減	電気使用量	効率的な生産													通年
		不要照明の消灯													
		エアコン温度設定													
	軽油使用量	アイドリングストップ													通年
水の使用量削減		節水													通年
廃棄物削減		再資源化の検討													通年
教育		資格取得													通年
		緊急時の訓練			●										1回/年
社会貢献		工場周辺の清掃													1回/月

次年度の環境目標及び主な取組

大井川工場

項目		基準	1年後	2年後	3年後
			2025年度	2026年度	2027年度
二酸化炭素排出量	電力使用量の低減	28,679 kWh	28,679	28,679	28,679
		基準:2024年4月～2025年3月の実績	前年度を超えない事	前年度を超えない事	前年度を超えない事
	軽油使用量の低減	18,757 ㍑	18,757	18,757	18,757
		基準:2024年4月～2025年3月の実績	前年度を超えない事	前年度を超えない事	前年度を超えない事
	二酸化炭素排出量の低減	62,819 kg-CO2	62,819	62,819	62,819
		基準:2024年4月～2025年3月の実績	前年度を超えない事	前年度を超えない事	前年度を超えない事
生産効率化	電力/生産量の削減	2.9 kWh/t	2.9	2.9	2.9
		基準:2024年4月～2025年3月の実績	前年度を超えない事	前年度を超えない事	前年度を超えない事
	軽油/生産量の削減	1.9 ㍑/t	1.9	1.9	1.9
		基準:2024年4月～2025年3月の実績	前年度を超えない事	前年度を超えない事	前年度を超えない事
排水	水使用量の削減(上水)	22 m ³	22.0	22.0	22.0
		基準:2024年4月～2025年3月の実績	前年度を超えない事	前年度を超えない事	前年度を超えない事
廃棄物	埋立廃棄物量の削減	134 t	133	131	130
		基準:2024年4月～2025年3月の実績	前年度比1%削減	前年度比1%削減	前年度比1%削減
教育	従業員の教育	-	1回/月	1回/月	1回/月
	資格取得の推進	-	1回/年	1回/年	1回/年

※ 電力の排出係数:0.393kg-CO2/kWh R6年度調整後排出、使用先:中部電力ミライズ

<次年度の環境活動計画>

目的		実施項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	頻度
二酸化炭素総排出量削減	電気使用量	効率的な生産													通年
		不要照明の消灯													
		エアコン温度設定													
	軽油使用量	アイドリングストップ													通年
水の使用量削減		節水													通年
廃棄物削減		再資源化の検討													通年
教育		資格取得													通年
		緊急時の訓練			●										1回/年
社会貢献		工場周辺の清掃													1回/月

環 境 関 連 法 規

法令名称	規制内容	対象				順守評価結果			
		新木場	南幌	館林	大井川	新木場	南幌	館林	大井川
廃棄物処理法	委託契約書の締結		○			○	○	○	○
	保管基準の順守		○			○	○	○	○
	マニフェストの発行、送付、保管		○			○	○	○	○
	許可等の届出		○			○	○	○	○
	委託先の確認		○			○	○	○	○
騒音規制法	規制基準の順守		○			○	○	○	○
振動規制法	規制基準の順守		○			○	○	○	○
フロン排出抑制法	規制基準の順守、簡易点検	○	○	○	-	○	○	○	-
消防法	届出、報告		○			○	○	○	○
毒物劇物取締法	保管、管理、届出		○			○	○	○	○
下水道法	規制基準の順守	○	-	○	○	○	-	○	○
自動車Nox. PM法	規制基準の順守		○			○	○	○	○
家電リサイクル法	規制基準の順守		○			○	○	○	○
浄化槽法	規制基準の順守	-	○	-	-	-	○	-	-
循環型社会形成推進基本法	規制基準の順守		○			○	○	○	○
資源有効利用促進法	規制基準の順守		○			○	○	○	○
東京都環境確保条例	規制基準の順守	○	-	-	-	○	-	-	-
北海道環境基本条例	規制基準の順守	-	○	-	-	-	○	-	-
群馬県生活環境保全条例	規制基準の順守	-	-	○	-	-	-	○	-
静岡県生活環境保全条例	規制基準の順守	-	-	-	○	-	-	-	○

2025年4月7日

※自主チェックの結果、違反はありません。

※過去3年間、関係機関等からの指摘はありません。

代 表 者 に よ る 見 直 し

見直し対象期間	2024年4月1日～2025年3月31日
見直し実施日	2025年6月1日
見直し結果	主に新木場工場と館林工場において生産工程の見直しを進めた年度であった。 本年度において廃棄物発生量と水使用量の削減効果を検証し、次年度以降でさらなる環境負荷軽減効果を求めていく。
指示	国内ガラス製品生産量が減少トレンドにある一方で、カレット利用率アップによるCO2削減効果は引き続き求められています。 これまでカレット利用されていない廃棄物の再資源化に取り組むこと。また、現状の自社工程廃棄物を再資源化する改善も進めてください。

主 な 活 動

- 安全教育

グループ会社による安全監査をはじめ、グループ会社の安全対策を見学・共有し、TREガラス(株)の安全強化に努めました。
また、グループ会社合同で開催される総合安全衛生委員会に参加し、安全意識の向上に努めました。
当社内においては、月次開催の安全衛生委員会で、環境法規、必要資格の確認、安全リスクアセスメントを共有、改善に努めております。

- 工場周辺清掃、海ごみゼロウィーク活動

環境省などが推進する「海ごみゼロウィーク」活動に賛同し、各工場周辺の道路や近隣の海岸、公園等を定期的に清掃しております。



- 自治活動

新木場工場では、交通安全週間に地域事業者で実施される新木場駅前の交差点交通誘導に参加しております。他拠点においても自治体や工業団地で実施される活動に参加しております。